



第24回国際情報オリンピック (IOI 2012) イタリア大会



5年連続日本選手4人全員メダル獲得!
村井君 3年連続金メダル 全選手中 第4位
笠浦君・秀君・劉君 銀メダル

第24回国際情報オリンピック (IOI 2012) は2012年9月23日～30日にイタリア シルミオーネとモンティキアーリにおいて81ヶ国・地域から310人の選手が参加して開催されました。日本代表選手4人は全員がメダルを獲得し、メダル獲得数による国別順位は7位タイ (1位中国・ロシア、3位ルーマニア・アメリカ、5位イラン、6位ベラルーシ、7位日本・クロアチア・ポーランド) でした。



代表選手4名
(左から 劉鴻志 君、秀郁未 君、村井翔悟君、笠浦一海 君)



表彰式後の日本選手団
(前列 選手4名。後列左から 谷聖一・副団長、伊藤哲史・団長、笈捷彦理事長、日本チームガイド Veronica Pinetti さん、NTT データ 山下相談役ご夫妻)



IOI 2012 日本代表選手の成績

金メダル	村井 翔悟	開成高等学校(東京都)	3年
銀メダル	笠浦 一海	開成高等学校(東京都)	3年
銀メダル	秀 郁未	開成高等学校(東京都)	3年
銀メダル	劉 鴻志	栄光学園高等学校(神奈川県)	2年

同賞内氏名の五十音順



イタリア大会スケジュール

IOI 2012 日本選手団 スケジュール		
9月22～23日	派遣直前合宿・壮行会	成田エアポートレストハウス
9月23日(日)	日本出発	9:45 成田空港発 LH711 便 フランクフルト乗継
	イタリア到着	ミラノ空港着 17:35
9月24日(月)	開会式・プラクティス	開会式 10:00～12:00 練習ラウンド 14:00～17:00
9月25日(火)	第1日競技日	競技 9:00～14:00
9月26日(水)	エクスカージョン	ガルダランド, ミラノ
9月27日(木)	第2日競技日	競技 9:00～14:00
9月28日(金)	エクスカージョン	ヴェネツィア
9月29日(土)	表彰式・閉会式	昼は自由時間、表彰式・ディナー 17:00～22:00
9月30日(日)	イタリア出発	ミラノ空港発 13:25 LH1857 便 ミュンヘン乗継
10月1日(月)	帰国	10:15 成田空港着
	表敬訪問	14:00～15:00 文部科学省



文部科学省を表敬訪問

IOI イタリア大会へ参加した日本選手団は、帰国日の10月1日午後2時、文部科学省を表敬訪問しました。4選手全員が大臣表彰され、記念品が贈呈されました。その後、城井^{きいたかし} 政務官と、IOIに参加した感想などについて和やかに懇談が行われました。



記念撮影（文部科学省にて）

左から：秀君、村井君、城井政務官、笠浦君、劉君

城井政務官と談笑→





イタリア大会 ギャラリー



9月23日 成田空港出発



9月24日 日本チームガイド Veronica Pinetti さんと開会式会場へ行きました



開会式



18世紀のバイオリンの演奏を鑑賞



地元テレビ局のインタビューを受ける劉君



プラクティス



ベラルーシの選手と交流



翻訳会場 随行員のみなさんが問題を翻訳しました





イタリア大会 ギャラリー



競技会場



スコアボードで自分の得点を確認する選手たち



アメリカ代表選手と
右端は総合1位(満点)の Johnny Ho 君



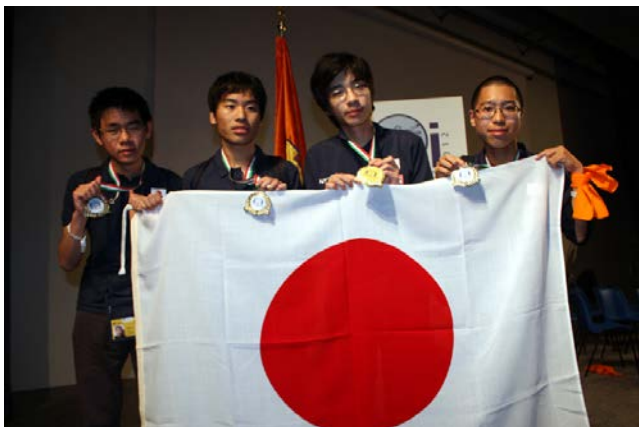
恒例の「IOI」の人文字



9/28 エクスカーション
ヴェネツィア サンマルコ寺院にて



9月29日 表彰式



全員メダル獲得 おめでとう！左から 笠浦君（銀メダル）
秀君（銀メダル）、村井君（金メダル）、劉君（銀メダル）



IOI 創始者の Sendov 氏と算理事長



みなさんお疲れ様でした



選手の感想から

(一部抜粋)

笠浦 一海 君

イタリアでの一週間はあっという間に過ぎた。私は IOI には今年初参加だが、この手の国際大会は三回目だ。一回目は一週間が半年のように、二回目は一週間が一カ月のように感じられたものだが、今回は一週間が三日のように感じられた。この大会を中学三年生のころから目指していたことを考えると、それはあまりにも短い一週間だった。

競技は出題傾向に偏りがなく、また解いていて楽しそうな問題ばかりだった。もっとも楽しいといっても「解けたら」の話である。実際、競技終了後に解答を聞いてはじめて、面白い問題だと思うことが多かった。

競技一日目は簡単な問題があつてそれを完答できたが、二日目は一問も完答できず悔しい思いをした。特に三問目の「トーナメント」は他の日本代表選手はみな解いていたので悔しい。結果は 357 点で 29 位の銀メダル。金メダルまでもう少しの順位だったが、金メダリストはみな二問以上完答していたのでこれが妥当な結果かもしれない。二日目の最後の 30 分、もう解法が思いついても実装する時間がないと絶望して、仕方なく支給されたりんごを丸かじりしていた時、これで自分の情報オリンピックは終わりなのだと思つたが、不思議なほどその実感はわいてこなかった。

国際交流については、自分は英語力もコミュニケーション能力も低いので無理にすることは無いと思ひ、初めからやる気がなかった。学年が一つ下の劉くんが一番積極的に交流していて感心した。彼には来年もあるので、オーストラリアでのさらなる活躍を期待している。

これで私の選手としての情報オリンピックは終わったのだが、なんだかまだ代表候補でいるかのような気分がする。実際、私の人生はまだ続いていくし、情報オリンピックもまだ続いていく。これからもチューターや、あるいは今回来てくださった三人の先輩方のように随行員として、情報オリンピックにかかわっていただけると幸いである。

最後に。私がここまで来られたのは、様々なことを丁寧に教えて、また私たちを鼓舞してくださったチューターの先輩方、私たちの活躍を支えてくださった委員会の方々、その他大勢の方々のお力があつたことであり、重ねてお礼を申し上げたい。



秀 郁未 君

競技は 1 日目、2 日目ともに 155 点で、銀メダルでした。1 日目の odometer の問題文をよく読む、scrivener で使うダブリングの実装に慣れる、2 日目の supper のデバッグのうち 2 つできていれば金メダルでしたが、このままでも銀メダルの上位なので十分良かったと思います。ただ今年は簡単に解ける問題が例年と比べて全然無かったので、なかなか満点解法を思いつかなかつたり書けなかつたりして焦りました。長時間デバッグするくらいなら書き直した方が良いと思います。



観光は、Gardaland とヴェネツィアに行きました。Gardaland ではジェットコースターに乗って猛禽類の気分を味わったり、随行員と遊んだりしました。ヴェネツィア観光は全く自由行動をできなかったのが少し残念でした。

食事はとてもおいしかったです。朝食は毎日全く同じで種類も少なく微妙なのですが、夕食は本気を出しているように見えました。ちなみに宿舎のピザはいろいろな国の人から不評でした。

また、Taiwan, Libya, Serbia などの人と国際交流しました。日本のアニメは（日本ではマイナーなものまで）有名だったりするらしいです。

今年は国内の代表選考の段階からかなり難しく、多くの難問に出会うことができました。また、IOI に参加できたこと自体も嬉しく思います。今後も様々なプログラミングコンテストに参加したり、JOI にも関わっていきたいです。最後に、leader や随行員を始めとする JOI 関係者の皆さん、ガイドとして助けてくれた Veronica さん、IOI 運営の皆さん、どうもありがとうございました。

村井 翔悟 君

競技では、まず今年の問題は「自明な問題」がなく、一番簡単な問題でも比較的考えさせられる問題でした。1 日目は取りにいけない点数を素直に取りに行き 11 位でした。2 日目は、難しいが気がつけばすぐに解ける問題があり、思いがけないひらめきでそれを解くことができ、最終的には 4 位を取ることができました。両日とも落としかつた点数の大半は、実装を焦らずにもっと解き方をよく考えてれば取れたかもしれないもので、少し心残りな点ではありますが、最後の IOI で 4 位という結果を残すことができました。



国際交流では、他の国の選手と話をしたり、お土産を交換するなどしました。英語に苦手意識を持っていましたが、普通に会話をする分には聞き直したりもできるので思ったより話せました。何度か日本語で話しかけられることがあり、少し驚きました。特にある台湾の選手は日本語がとても上手かったです。今まで 3 回 IOI に参加させて頂きましたが、それによって得られた経験は計り知れないものです。情報オリンピックに参加していなかったとしたら、このような素晴らしい経験をする事もなく、平凡に高校生活を過ごしていたと思います。IOI を支えて下さった皆様、JOI でさまざまなことを教えて下さった先生、チューターの皆様、ありがとうございました。

劉 鴻志 君

競技について

1 日目、自分は問題をはじめに読みコンテストの計画を立てるといった基本的なことができず、見た問題から解くという無計画なことをしてしまい、さらに解こうとしていた問題が思うように解けず、ひどい結果となってしまった。1 日目は 100 位にも入れず銅メダル圏内、目標としていた金メダルは絶望的となり絶望していた。

2 日目は 1 日目の反省を生かし、実力相応の点数を出すことができた。この日は 19 位で金メダル圏内、1 日目の結果が悔やまれた。合計では 38 位の銀メダルだった。どの問題も満点を取る人が 3 人ぐらいいて、誰も解けないような問題はなく、解説を聞くと理解でき、実装が非常に重いものもなく、よい問題セットだと思った。



あと、3 年連続で 1 位をとっていた Belarus の Gennady さんが 2 位で、不調なのかなと思った。最後に、IOI に来年出るつもりの方は後悔しないようしっかり準備しましょう。(僕は後悔しています。)

国際交流について

悪い人はいなかった。Belarus/Russia チーム全員イケメンだった。Taiwan の人で、“YAGAMI HAYATE” という文字と人間系のイラストが描かれているバッグを持っている人といろいろ話した。ゆかいな人だった。Iran の人や、USA の scott_wu さんとかが自分の id を知っていると言っていてうれしかった。話しかけていやな顔をする人は(たぶん)いないので、来年出るつもりの方はどんどん声をかけましょう。

JPN チームについて

3 人のチューターは全員 IMO の金メダリストで、IOI でも 2 人が金メダルを取っていて、もう 1 人は銀を取っている人でやばい。TopCoder の Target、Codeforces の International Grandmaster が 2 人もいる。選手も村井さんは IOI で金メダル 3 枚目を獲得し、IMO でも 2 枚メダルを取っていて、他の 2 人も物理や生物オリンピックに出ていてやばい。

JPN チームは他にもリーダーなどがいて、全員いい人だった。夜は set というゲームをして遊んだりしていた。

IOI は初参加だったがとても楽しかった。支えてくれた JPN チームや後援の人々にはかなり感謝しています。来年代表になるつもりの方は、IOI とても楽しいので代表になれるようがんばってください。来年は金メダル取るゾ～。



第6回アジア太平洋情報オリンピック

アジア太平洋地域の地域大会として第6回アジア太平洋情報オリンピック(APIO, Asia-Pacific Informatics Olympiad)が5月12日(土)にインターネット上で開催されました。今年のAPIOは日本がホスト国として実施をし、成功裏に終わりました。日本からは75名が東京ほか全国6会場で参加しました。各国参加者のうちの成績上位6名(同点の場合+若干名)が代表選手と見なされます。以下の8名が日本代表選手として優秀な成績をおさめました。

	氏名	学校名	学年	学校所在地
金メダル	笠浦 一海	開成高等学校	3年	東京都
金メダル	村井 翔悟	開成高等学校	3年	東京都
銀メダル	劉 鴻志	栄光学園高等学校	2年	神奈川県
銅メダル	北村 寛	開成高等学校	3年	東京都
銅メダル	秀 郁未	開成高等学校	3年	東京都
銅メダル	三上 和馬	大阪府立大学工業高等専門学校	3年	大阪府
銅メダル	守屋 広汰	静岡県立浜松工業高等学校	3年	静岡県
銅メダル	矢倉 大夢	灘高等学校	1年	兵庫県



夏季セミナー

8月25日(土)~29日(水)に国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)において夏季セミナーを実施しました。26人の参加者が、講義を聴講したり5つのグループに分かれて情報科学の専門書を輪講し、最終日には勉強の成果を発表しました。





第12回日本情報オリンピック開催

第25回国際情報オリンピックは2013年7月にオーストラリアで開催される予定です。日本代表選手候補を選抜する第12回日本情報オリンピックは以下のように開催されます。本選の成績上位者にはメダルと副賞が授与され、春季トレーニング合宿に招待されて選手選抜競技に参加できます。全国を6ブロックに分け、ブロックごとの成績優秀者も表彰します。成績優秀者には多数の大学における入試に関する特典や、夏季セミナーやアジア太平洋情報オリンピックへの優先参加などの特典があります(詳細は情報オリンピック日本委員会のウェブサイトをご覧ください)ので、奮って応募してください。

応募資格 : 次の2つの条件を満たす者:

- ・2013年2月の日本情報オリンピック本選実施時点で高等学校、高等専門学校、中学校、中等教育学校、小学校、特別支援学校に在学し、学年が高等学校2年以下(中等教育学校や高等専門学校などの在校生は高等学校2年に相当する学年以下)であること。日本国内において学校以外の初等・中等教育機関に所属している人は個別に相談。
- ・生年月日が1993年4月2日以降であること。

予選 : 2012年12月16日(日)にウェブ上オンラインで実施する予定です。ウェブから申し込みができ、学校のPC教室や自宅等において参加できます。

本選 : 2013年2月9日(土)10日(日)に東京会場で実施します。参加者には交通費を支給します。予選を通過した人だけが参加できます。本選と併催して参加者交流セミナー等を開催します(自由参加)。

競技内容 : 与えられた問題を解くために、プログラムを書き、実行して正しい答を出力させます。高校生レベルまでの数学とプログラミングの知識が必要です。予選ではプログラミング言語の種類を問いませんが、本選ではC/C++ だけが使えます。

参加料 : 無料です。

申込方法 : 9月1日から情報オリンピック日本委員会のウェブサイト <http://www.ioi-jp.org/> で受付を開始しています。

結果発表 : 予選・本選それぞれ終了後、本人に電子メールで通知します(成績をウェブサイトで閲覧できます)。

特典 : 予選や本選の成績優秀者には以下の特典があります。

- ・早稲田大学理工系3学部 特別選抜入試「情報オリンピック入試」受験資格 …本選Aランク者
- ・慶應義塾大学総合政策学部・環境情報学部・理工学部 A0入試1次選考免除 …本選Aランク者
- ・東北大学理学部・工学部 特別入試(科学オリンピック) 出願資格 …本選Aランク者
- ・立命館大学生命科学部 A0入試出願資格 …本選Aランク者
- ・筑波大学情報学群(情報科学類・情報メディア創成学類) 国際科学オリンピック特別選抜出願資格 …本選Aランク者
- ・関西大学総合情報学部A0入試【活動実績評価型】第1次試験合格 …本選Bランク者以上
- ・国際基督教大学 A0入試Bカテゴリー出願資格 …本選Aランク者
- ・会津大学推薦入試出願資格 …本選Aランク者
- ・予選の成績優秀者への特典がある大学: 広島大学医学部AO入試応募資格、東洋大学総合情報学部自己推薦入試(資格取得者入試)応募資格、東京理科大学理学部第一部数理情報科学・応用物理学科・化学科・応用化学科 SSE 推薦入学出願資格、中央大学理工学部数学科&情報工学科自己推薦入試応募資格、東京女子大学現代教養学部AO入試2次選考小論文免除、東邦大学理学部各学科へのAO入試1次選考免除



協賛・後援・助成・提携

情報オリンピック日本委員会の活動は、独立行政法人科学技術振興機構、株式会社NTTデータ、富士通株式会社、社団法人東京倶楽部ほかのご支援をいただいています。

また、日本情報オリンピックは、文部科学省、情報処理学会、日本ソフトウェア科学会、電子情報通信学会、日本教育工学会、教育システム情報学会、独立行政法人国立高等専門学校機構、全国高等学校長協会、社団法人全国工業高等学校長協会からご後援をいただいております。スーパーコンピューティングコンテスト、全国高等学校パソコンコンクール、全国高等専門学校プログラミングコンテストと提携しています。



独立行政法人科学技術振興機構



株式会社NTTデータ



富士通株式会社



社団法人東京倶楽部



No.13 2012年12月1日発行

編集・発行

(NPO法人)情報オリンピック日本委員会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 7-26-37-2D

TEL: 03-5272-9794 (FAX: 03-5272-9791)

E-mail: info@ioi-jp.org

<http://www.ioi-jp.org/>